

令和 6 年度第 1 回大和高田市国民健康保険運営協議会 会議録要旨

1. 開催日時	令和 6 年 8 月 29 日（木） 午後 2：00～午後 3：00
2. 場所	大和高田市役所 5 階 会議室 6
3. 出席者	（委員） 出席 11 名 原会長 弓場委員 片岡委員 中川委員 西川委員 藤田（千）委員 藤田（智）委員 酒本委員 中井委員 赤井委員 中川委員 欠席 3 名 松本委員 前之園委員 田中委員 （事務局） 田中保健部長 新収納対策課長 草野健康増進課参事 岡崎保険医療 課長 芳村保険医療課国保医療グループ係長
4. 次第	1. 開会 2. 保健部長挨拶 3. 委員紹介 4. 議事 （1）令和 5 年度国民健康保険事業の状況報告について （2）国民健康保険条例の一部改正（案）について （3）その他 5. 閉会
議事内容	（1）令和 5 年度国民健康保険事業の状況報告について 事務局より資料をもとに状況報告。全会一致で承認。 （質問票による事前質問） ① 国の進める労働者皆保険制度の、国保財政への影響への対策について。 ② 本市におけるジェネリック医薬品の数量シェアについて。 ジェネリック医薬品の使用促進の取り組みであるが、10 月から選定療養費として、先発医薬品を希望する方が後発医薬品との差額の 1/4 を負担することになる。この効果測定のために、今後も使用率について、報告いただきたい。 （事務局回答） ① について、保険医療課より回答 被用者保険の適用拡大については、先月開催された厚労省の社会保障審議会医療保険部会においても、委員である全国知事会会長、全国市長会会長などから慎重な検討を求める意見が出されている。国としては厚生年金の受給者を増やしたいという思惑もあるようだが、国民皆保

	険制度の根幹である国保制度の存立に大きな影響を与えかねない問題であり、保険者として国へ意見を述べていく。 国保事業が県単位で運営される中、市町村としてできることが限られるが、資格管理や保険税徴収の厳格化、医療費適正化事業の拡充等により、財源確保の努力を続けるしかないと考えている。 ② について保険医療より回答 令和 5 年 9 月分の使用割合で、81.2%。同月、奈良県については、77.5%ですので、県平均より、高い水準で推移しております。次回の協議会で、直近の数字を報告させていただく。 (委員からの質問) 柔整療養費について、保険請求ができる柔整の療養費については急性期疾患に限って 3 カ月しか認められないが、3 カ月ごとに受傷部位が変更され、その受療パターンが週数回定期的に受診されている。いわゆる病名転がしと思われる疑義案件について、自身が加入している健康保険組合については、個別に被保険者に問い合わせをしているが、受療者がその通知を施術所に持参し、施術所が適当な病名をつけて返されるということがあり、いつまでたっても是正されない。本市としての取り組みとしてはいかがなものか。 (事務局回答) 県内保険者の国保事務の共同化の事業として連合会で柔道整復施術療養費の、内容点検をおこなっており、保険者は連合会と協力して、通知や架電による被保険者調査、施術所調査をおこなっている。ご指摘のありました療養費の内容点検につきましても、連合会と情報共有をおこない、必要に応じ近畿厚生局への通告も含めて、医療費の適正化に努める。 (委員からの質問) 任意給付について、出産育児一時金と葬祭費の支給件数についての報告があるが、市全体の出生数はいかほどか。 これらの制度の周知はしているのか。 (事務局回答) 保険医療課より回答：市民課への届出の後に、付随する手続の窓口の案内があるため、そこで申請手続きについての案内はおこなっている。 死亡の件数では古いデータになるが、令和 3 年中（令和 4 年 1 月 1 日時点）で 820 件。年々高齢者数は増えておりますので、件数は増加していると思われる。
--	---

	健康増進課より回答：出産件数は令和 5 年度が 349 件。令和 4 年度が 330 前後と認識しているため、若干件数は伸びている。
	(2) 国民健康保険税条例の一部改正（案）について マイナンバー法の一部改正により令和 6 年 12 月 2 日から健康保険の被保険者証が廃止されることに伴い、国民健康保険法上において、保険税を滞納している世帯主に被保険者証の返還を求める規定が削除することから、当該義務違反があった場合に 10 万円の過料を科す規定を削除する条例改正案。 事務局より資料をもとに説明。全会一致で承認。 (委員からの質問) 大和高田市のマイナンバーカードの交付率は如何ほどか。 (事務局回答) 本市全体のマイナンバーカードの交付率は手元に資料がございませんが、国保の被保険者の約半数（58％）が、マイナンバーカードを保険証利用としての登録済。マイナ保険証の利用率については、令和 6 年 6 月の利用率で 13.93％。全国平均は 10.99％ですので、若干利用率が上回っている状況である。
	(3) 令和 5 年度 保健事業の主な取り組みについて 事務局より資料をもとに報告。 (前回協議会での委員からの質問) データヘルス計画の概要版について、図表 5 生活習慣病等疾病別医療費統計（令和 4 年度）について、疾病分類が精神の医療費については、認知症にかかる医療費も含まれているのか。 (事務局回答) 認知症も含まれる。認知症が占める医療費については、精神の疾病分類 約 4 億 3,700 万円のうち、約 1,414 万円。約 3.2％となる。 (質問票による事前質問) 特定健診の受診率が他市町村と比べて大幅に低い状態が続いているが、更なる受診率向上策は考えているか。 (事務局回答) 集団健診については実施日数も県内トップクラスで、休日実施や地域の公民館での実施にも取り組んでいる。5 年度からは夜間でも予約ができるように、WEB 予約システムを導入し、受診機会の確保という観点ではこれ以上の拡充は難しい。 今期は実績のある事業者を受診勧奨業務を委託しており、10 月頃から未受診者の特性にあわせた通知文書を送付する予定。医療機関で健診

	受診につながればと期待している。 (委員からの意見) 被保険者がパート等の職場を通じて受診を呼びかけてもらえると、受診に繋がるように思う。引き続き健診受診について広報いただきたい。
5. 閉会	